

小倉プール減免規定一覧

相模原市立グラウンド等スポーツ施設に関する条例施行規則（抜粋）

第7条 条例第7条の規定による使用料の減額又は免除は、次の各号に掲げる場合に、当該各号に定める率により行う。この場合において、減額を行う額に10円未満の端数が生じたときは、これを切り上げる。

- (1) 市内の学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校(前期課程に限る。)及び特別支援学校(高等部を除く。)(以下「小中学校等」という。)が教育課程に基づく教育活動のために利用するとき。 100パーセント
- (2) 市内の学校教育法第1条に規定する幼稚園、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律(平成18年法律第77号)第2条第7項に規定する幼保連携型認定こども園若しくは児童福祉法(昭和22年法律第164号)第39条第1項に規定する保育所又はこれらに準ずる施設(以下「幼稚園等」という。)が幼児の教育活動等のために利用するとき。 50パーセント
- (3) 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者、児童福祉法第12条第1項に規定する児童相談所若しくは知的障害者福祉法(昭和35年法律第37号)第12条第1項に規定する知的障害者更生相談所において知的障害と判定を受けた者又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びこれらの介護者(以下「身体障害者手帳の交付を受けている者等」という。)が利用するとき(小倉プール又は小原プールを利用するときに限る。)。 100パーセント
- (4) 65歳以上の者が利用するとき(小倉プール又は小原プールを利用するときに限る。)。 50パーセント
- (5) 公益財団法人相模原市スポーツ協会又はこれに所属する団体がスポーツの振興の目的のために利用するとき。 50パーセント
- (6) 指定管理者が条例第21条の規定により行う同条第7号の事業(以下「指定管理者が行う事業」という。)のために利用するとき。 100パーセント
- (7) 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認めるとき。 その都度市長が定める率

2 前項の規定により使用料の減額又は免除を受けようとする利用者は、相模原市立グラウンド等スポーツ施設使用料減免申請書を市長に提出しなければならない。ただし、同項第3号又は第4号に該当するときは、この限りでない。

以下、略。